

②ノルドストリーム爆破事件

2022年9月26日、ロシアとドイツを結ぶ天然ガスのパイプライン「ノルドストリーム」が爆破され、大量のメタン・ガスが環境に漏れ出す大事件が起きました。

ノルドストリーム1の第1ラインは2011年5月までに敷設され、2011年11月8日に開通しました。ノルドストリーム1の第2ラインは2011年から2012年にかけて敷設され、2012年10月8日に開通しました。全長1,222kmのノルドストリーム1は世界最長の海底パイプラインで、まさにドイツへの天然ガス輸送の大動脈です。

ノルドストリーム1の年間総ガス供給容量は550億m³ですが、ノルドストリーム2の建設によってこの容量は合計1100億m³に倍増する筈でした。そして、2021年9月10日、ガスプロムはノルドストリーム2の工事が終わり、パイプラインが完成したと発表しました。

ところが、2022年2月22日、ロシアがドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国を承認すると表明したことを受けて、ドイツのオラフ・ショルツ首相はノルドストリーム2の認証作業を停止したため、ノルドストリーム2は運用に至りませんでした。

そして、ウクライナ戦争の開戦から約7か月後の2022年9月26日、ノルドストリーム1のパイプライン2本とノルドストリーム2のパイプライン1本が爆破される事件が発生しました。調査したスウェーデンの検察当局は11月18日、爆破による破壊工作の痕跡を確認したと明らかにしましたが、それ以上の情報は公表していませんでした。

欧州とロシアを結ぶガスパイプライン「ノルドストリーム」



事態は2023年2月8日に衝撃的な展開を示しました。

外交・安全保障分野の調査報道でピューリッツァー賞などを受賞したアメリカのジャーナリスト、シーモア・ハーシュ氏(85)が、匿名の消息筋の話として、自身のブログにアメリカ海軍の潜水士たちがバルト海を通過するパイプライン「ノルドストリーム」に爆弾を装着して爆破したことを暴露したのです。

同氏によると、2022年夏のNATO軍事演習「バルトトップス」に参加した複数のアメリカ人ダイバーらが「ノルドストリーム」の下部に爆破装置を設置し、それを3か月後にノルウェーが作動させたために起きたとされています。

「昨年の夏、米海軍のダイバーらは、NATOの演習“バルトトップス22”に参加し、これを隠れ蓑にして、遠隔操作による爆発物を仕掛けた。そして、3か月後、ノルドストリームの4本あるパイプラインのうち3本が破壊された」

ハーシュ氏は、自身のウェブサイトで、公認された情報源を引用して、こう書きました。

ハーシュ氏によれば、ノルウェー海軍の軍用機が9月26日に水中音響ブイを投下し、これによって爆破装置が作動したということです。

同氏は、ノルドストリーム破壊工作の決定はジョー・バイデン米大統領が国家安全保障チームと9か月以上にわたって秘密裏に協議した結果であることも明らかにし、この妨害工作についてアメリカ政府内の議論では、「いかに証拠を残さないか」が大きな課題だったと述べました。そして、ノルドストリーム破壊工作にはサリバン大統領補佐官・国家安全保障担当が関与していたと断言したのです。